

申し合わせ事項

1. 本陸上競技場の開門時間および閉門時間について

開門 閉門

【9月23日(月)】 16:30 20:15

- 1) 開・閉門時間は厳守のこと。違反した場合は、厳重に処罰する。閉門時には駐車場を含めた競技場の敷地から完全に撤収すること。
- 2) 競技の進行状況により、閉門時間は遅らせる可能性がある。
- 3) 競技場内での練習開始は16時とする。競技会準備の邪魔にならないよう注意すること。
- 4) 開会式中は、競技場内での練習は厳禁とする。

2. 参加校受付について

- 1) 各大学の代表者は、9月18日正午までにフォーム (<https://forms.gle/jKWai3GAZSHaMypS7>) にて来場者一覧を提出すること。一覧への当日追加は認めない。

大会延期につき、来場者に変更のある大学は9月22日正午までに上記のフォームに提出すること。

- 2) 来場者一覧に記載が必要なのは、選手・監督・コーチ・マネージャー・審判・補助員・トレーナー・周回記録員及び現部員である。これに該当しない者は、来場者一覧に記載せず一般入場者として、次項の体調管理誓約フォームに回答すること。
- 3) 競技場入場前に、フィニッシュ側ゲート前の総合受付にて事前提出された来場者一覧を用いてチェックを行い、リストバンドを配布する。
- 4) 来場者は、下記時間帯に受付をする(表1)。

表1: 受付時間・場所

| 受付開始時間 | 受付場所 |
|--------|--------------|
| 16:30~ | 総合受付@ゴール側ゲート |

- 5) 管理確認書は紙媒体でレース当日提出する。また領収書は、管理確認書と引き換えとする。
- 6) 東海学連 HP にて配布した体調管理チェックシート(大会前・大会後)を記入すること。回収しないが、各大学にて大会前・大会後の2枚を保管すること。

大会延期に伴い、日付を修正したチェックシートをHP上に公開したので、そちらを使用すること。

3. 一般入場者について

- 1) 本大会は有観客開催とする。スタンドの収容人数を超過した場合、入場制限を行うことがある。
- 2) 来場を希望するものは、来場時まで「[体調管理誓約フォーム](#)」で健康チェック申告を行うこと。回答後、回答者にメールが送信される。
- 3) 競技場来場時、ゴール側ゲート総合受付にて検温を行う。その際、上記のメール受信画面もしくは、メールを印刷したものを担当者に見せること。これらが確認できない場合、書面にて健康チェックを行う。検温の結果、37.5℃以下の場合にはピンクリストバンドを配布する。37.5℃を超える場合には15分後に再度検温をし、それでも37.5℃を超える場合には入場をお断りする場合がある。※検温を行わずに、競技場内に入場することは不可である。
- 4) 一般客としての入場の場合、参加校が提出する来場者一覧への記載および体調管理チェックシートへの記載は必要ない。体調管理誓約フォームへのみ回答すること

4. リストバンドについて（表2）

表2：リストバンド配色対応表

| リストバンド色分け | | 入場可能エリア |
|-----------|---|---|
| 青 | 選手 | トラック内・正面玄関内・更衣室・スタンド |
| 赤 | 監督・コーチ・マネージャー 選手(補員)・付き添い選手 部員 | スタンド |
| オレンジ | 各校周回記録審判員1名 ラップ読みエリア入場代表者2名 学生トレーナー | トラック内(17:40～)※周回記録員のみ ラップ読みエリア(18:00～) スタンド |
| 黄色 | 学連員・学生審判・補助員 陸協審判・学連役員・救護トレーナー | 規制なし |
| ピンク | 一般入場者 | スタンド |

リストバンドの扱い方

- 1) 来場者は常にリストバンドを携帯し、行動すること。競技の妨げになる場合は、必ずしも身体につける必要はないが、カバンなどの目に見える場所に装着すること。入場ゲートや正面玄関は、リストバンドの提示がない場合の通行は認めない。
- 2) 競技者は試合中にリストバンドを装着する必要はないが、試合後も保持すること。
- 3) リストバンドの再発行は原則認めない。
- 4) 監督・コーチ・マネージャーの人数は最小限とすること。
- 5) ゲートはフィニッシュ側トラックゲート、2F デッキ正面玄関ゲートを開放する。ただし2F デッキ正面玄関ゲートはリストバンドの配布は行わない。既にリストバンドを持っている場合のみ通行できる。

5. 周回記録審判員・学生トレーナーについて

- 1) 各大学1名の周回記録審判員を必ず派遣すること。全女・選抜レースそれぞれ1名の派遣だが、両大会を兼ねても構わない。また、片方の大会に参加する場合はその大会のみへの派遣で構わない。集合時間及び場所は下記の通りとする。周回記録審判員は指定された場所にて活動する。周回記録員は、オレンジリストバンドを着用すること。
- 2) 学生トレーナーについては、17時40分以降、ゴール付近への立ち入りを認める。
- 3) 全女選考会に出場せず、選抜レースに1名のみエントリーしている大学については、派遣を免除する。

表3：周回記録員の集合時間・集合場所

| | |
|----------------------|------------|
| 集合時間 | 17時40分 |
| 集合時間 ※学連選抜のみ派遣の場合 | 18時30分 |
| 集合場所 | 正面玄関前補助員受付 |

6. ラップ読みエリア入場の代表者について

- 1) ラップ読みエリア入場代表者2名については、18時00分より第1コーナー～バックストレートに設けたラップ読みエリアへ入場することができる。
- 2) 審判員の指示のもと第7レーンまでの立ち入りとラップ読みを認める。
- 3) エリア内にて鳴り物を使用するなど競技運営に支障が出る応援、または伴走・助力と判断される行為をした大学は審判長の判断のうえ警告あるいは失格勧告を与える。

4) 代表者2名は、チームスタッフなどの競技場入場資格を持っているチーム関係者の中から選出すること。

7. 大学待機場所・横断幕の設置方法、競技場内施設利用の注意

- 1) 大学待機場所は指定しない。
- 2) スタンド内、及び2階デッキにテントの設置を認める。ただし設置をする際は、風対策をすること。1階軒下、競技場周辺のテント設置は認めない。
- 3) 競技場内における横断幕・のぼり等の掲出を希望する出場校は、正面玄関内役員受付に申し出ること。その後、掲出場所等を指示する。また数に制限を設ける場合がある。
- 4) いかなる場合でもガムテープ等の粘着物を用いて横断幕、その他掲示物を競技場内（付帯施設を含む）に貼ることは禁止する。
- 5) 競技場内および付帯施設の電源使用は認めない。

8. 式典について

- 1) 全日本大学女子駅伝東海地区選考会のレース終了後、閉会式を行う。その他の式典は実施しない。
- 2) 閉会式には、全日本大学女子駅伝東海地区予選会出場校の正選手6名が出席すること。
- 3) 参加校は部旗をもって、整列すること。
- 4) フィニッシュライン側から参加大学一覧順に整列すること。運営の都合上、別途指示を行う場合がある。
- 5) 整列する際は、各校の公式ジャージを着用すること。
- 6) 事情により閉会式に出席できない大学は、大会本部へ申し出ること。
- 7) 雨天の場合は、1階正面玄関外の軒下で行う。その場合は、旗手と代表者1名が出席すること。

9. 報道・応援・撮影について

- 1) 感染症対策として、個人・集団での声を発しての応援を認めない。また、鳴り物を使用しての応援行為も禁止とする。
- 2) 報道関係者及び大学関係者、学生新聞の方で、トラックレベルで撮影したい場合は、1階正面玄関前報道受付にて受付を行うこと。その際に報道関係者は名刺を提出すること。カメラを使用する場合、報道ビブスを配布するので、着用して撮影すること。
- 3) スタンド上からカメラやビデオカメラ等を用いて撮影する場合、ゴール側ゲート総合受付で受付を行い、撮影許可腕章を着用し撮影すること。撮影許可を得ていない者の撮影行為は禁止とする。ただし学生については所属する大学のジャージを着用してスタンドから撮影する場合のみ受付は不要とする。
- 4) スマートフォンを利用してスタンドから撮影する場合の受付は不要である。ただし、スマートフォンに撮影機材（望遠レンズ等）を取り付けて撮影される場合には申請が必要である。申請済の方、スマートフォンで撮影されている方であっても、場内では係員からの声掛け、写真の確認を依頼する場合がある。
- 5) 三脚を使用しての撮影は、まわりの迷惑にならないようにすること。競技中のフラッシュを使用する撮影は厳禁とする。
- 6) 競技とまったく関係の無い目的での撮影、身体の一部をアップしての撮影、透過撮影行為は禁止とする。不審な行動をする方を見かけた際は、競技場内で撮影したすべての写真・動画は確認する場合がある。
- 7) 撮影許可を得て撮影された画像や動画であっても、SNSやHP等を含む媒体に不適切と判断される掲載を確認した場合、削除を求めることがある。

11. 盗難・紛失について

- 1) 主催者側で受領した物品については1階役員受付で一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。

- 2) 大会終了後は受領した物品一覧を本連盟公式 Twitter にて周知するが、大会後 7 日間以内に申し出がないものについては感染症対策の観点から即廃棄する。心当たりのあるものはメールにて問い合わせること。

12. その他

- 1) 更衣室は、競技者以外の使用は認めない。また、選手の荷物は各大学で責任をもって管理し、使用後は必ず使用者が清掃すること。
- 2) 更衣室のシャワー室の使用は、感染症防止の観点から認めない。
- 3) ごみは各自で持ち帰ること。不法投棄を行った場合、処分を与えることがある。

東海学生陸上競技連盟